

令和元年度 第11回『耕人塾』

[日 時] 令和元年10月14日（月）18:30～20:30

[場 所] 石巻専修大学 5号館 3階学生ホール

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』8-6号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●挨拶（木村塾長）

台風19号の影響で日程と会場が変更になりました。このような中で、様々な方々の支えがあって本日の活動を迎えることができたことに触れ、「耕人第8-6」をもとにお話されました。



会場は、予定していた「百俵館」から石巻専修大学の学生ホールに変更になりました。

●講話 教学委員・NPO法人にじいろクレヨン代表 柴田 滋紀 氏

石巻の第一線で活動している方の生き方、考え方に触れながら塾生一人一人の課題解決に向けた「プロジェクトI」の目標設定と行動に生かすことができました。



塾生の皆さんには、目の前の気付いたことを率先してやっていく大人になって欲しいと、塾生に伝えました。

<講話の概要>

震災前は絵画教室や中学校で美術の非常勤講師を務めていました。東日本大震災当時は、地区の消防団に所属しており、救助に当たりました。助けられる人を助けることができました。

震災で助かった命を子どもたちのために使おうと決意し、子どもが安全で安心して自分らしくいられる場所を提供する取組を始めました。

現在は、地域が子どもたちを見守ってくれるようなコミュニティをつくる活動に取り組んでいます。具体には、朝の交通安全活動の一環で登校していく子どもたちへの声掛けとゴミ拾いを続けています。社会を変えていく力となっていると実感しています。

●感想記入

柴田氏の講話を聞いて気付いたことやこれからの自分の日常生活に生かすことをワークシートにまとめました。



塾生はメモをとりながら、真剣な表情で聞き入っていました。

●共有

塾生同士の感想を伝え合いながら、今まで気付かなかった新たに発見したことを自分のものにする事ができました。



教学委員のアドバイスをもらいながら塾生同士の意見交換を行いました。

●振り返り

今年の活動の振り返り、塾生一人一人がどんな自分になりたいか、地域のためにどんなアクションが可能なのかを塾生はメモをとりながら、まとめることができました。



自分の考えを分かりやすく伝えながら、今年の活動を振り返ることができました。

●事例紹介

これまでのプロジェクトIで取り組んできた事例を紹介しました。今回は、川開き祭りの際に、ゴミを集めたり分別するだけでなく、ミニゲームを取り入れたり、ゴミのデータ集めを行ったことを紹介しました。

【川開き祭りにおけるゴミ拾いでペットボトルなどを利用したミニゲーム】



川開き祭りの時に、ペットボトルを使って輪投げコーナーなどの設置を報告する塾生

<塾生の声>

- ・中学生未満を対象に輪投げを行いました。
- ・ゴミを拾って、ゴミステーションに持ってきてくれるきっかけとなると思い、実践しました。

【ゴミのデータ集め】



川開き祭りの時のゴミ分別をデータにしてまとめたことを報告する塾生

<塾生の声>

- ・ゴミがどこに多く捨てられているか、アンケート形式でデータを集めました。
- ・効率よくゴミを集めるための来年の参考になると思います。

●個人ワークと宣言

「なりたい自分」や「自分の住む地域をよくしたい」ことなどを、まとめました。



班ごとに分かれて、自己決定したことを塾生同士で意見交換をしました。

●講評（平塚真一郎 耕人塾アドバイザー）

人生で選択する場面があります。これが人との出会いにつながることもあります。今回、一人一人が決めた2ヶ月間で実践することに向けて、まずは具体的に動いてみるのが大切です。2ヶ月前の自分とは違うなあと思えるような実践にしてほしい、と塾生に伝えました。



メニュー

[ホーム](#) ▼

[耕人塾の活動](#) ▼

[令和2年度の活動](#) >

[令和元年度の活動](#) ▼

[第13回「耕人塾」第8期 閉塾式](#)

[第12回](#)

[第11回](#)

[第10回](#)

[第9回 実践活動](#)

[第7・8回 宿泊研修](#)

[第6回 実践活動](#)

[第5回](#)

[第4回 実践活動](#)

[第3回](#)

[第2回](#)

[第1回 開塾式](#)

[平成30年度の活動](#) >

[平成29年度の活動](#) >

[平成28年度の活動](#) >

[平成27年度の活動](#) >

[平成26年度の活動](#) >

[平成25年度の活動](#) >

[平成24年度の活動](#)

[報道・受賞](#)